

## ■ 非常時にとびらを取り外す

ドアを開けられないとき、浴室外側からとびらを取り外すことができます。

### ⚠ 注意



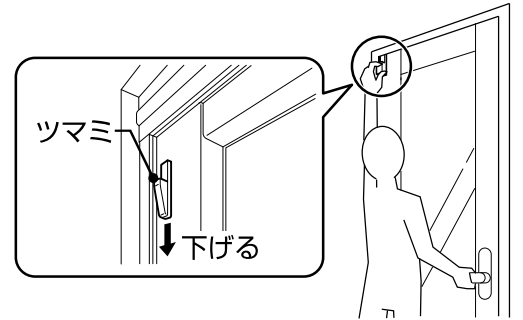
テンパー開き戸・透明面材の場合は、強化ガラス製のためとびらが重いのでご注意ください。  
緊急時以外は着脱ツマミを絶対に触らないでください。  
(取外し、取付けは成人2人以上で行うことをお勧めします。)  
※ とびらを支えきれず転倒してケガをしたり、腰を痛めることがあります。  
アームストッパーを戸先側までスライドさせないでください。  
アームストッパーが落下し、破損する恐れがあります。

### ● とびらを取り外す

#### 開き戸 (UDY) の場合

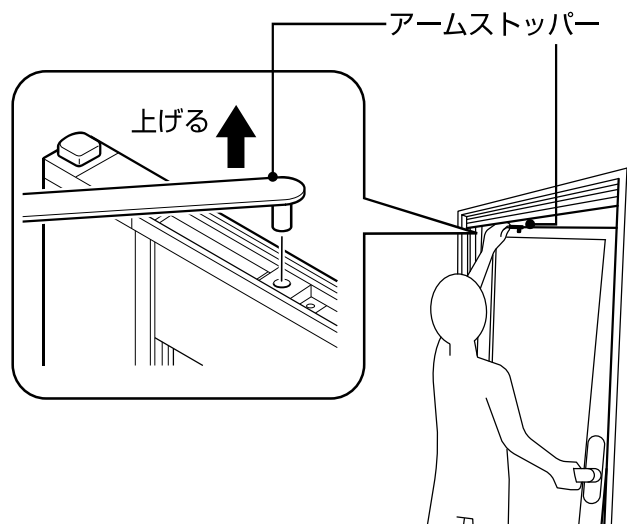
- ① とびらを浴室側内側に少し開きます。レバーハンドルを持ち、浴室外側から上部の着脱ツマミを下げます。

※ とびらが外れるまでレバーハンドルから手を離さないでください。



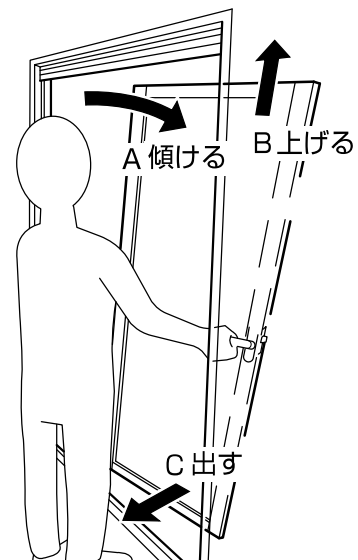
レバーハンドルを持つ

- ② とびら上部のアームストッパーをとびらの上へ押し、とびら本体から外します。



- ③ とびらの上部を浴室側内側に傾けて (A) 上方へ持ち上げます (B)。

とびらを少し斜めにしながら、浴室外側へ取り出します (C)。

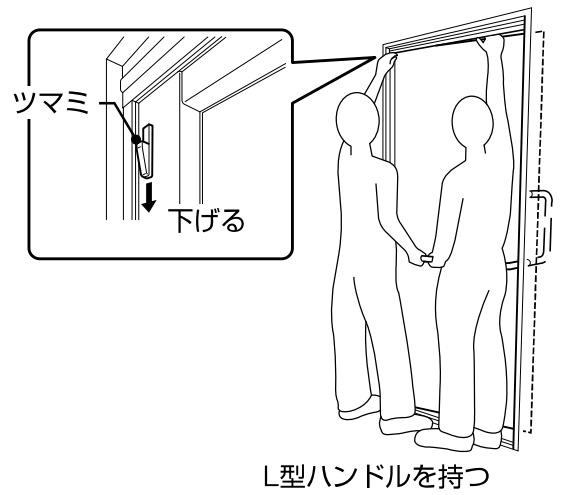


## ● とびらを取り外す

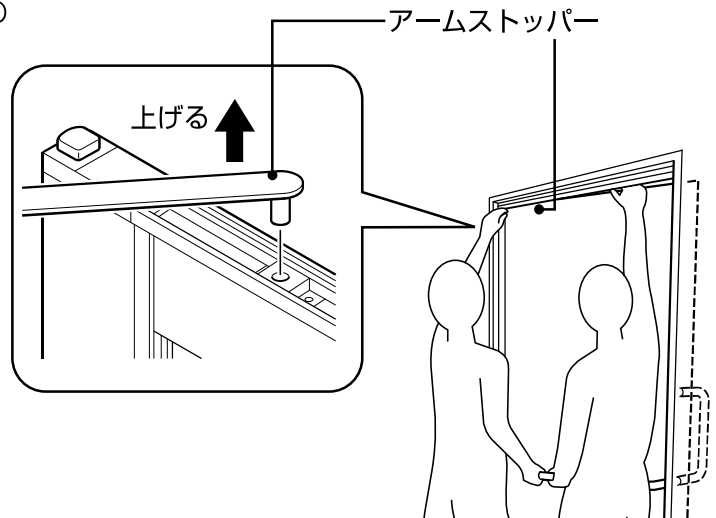
### テンパー開き戸 (TDY) の場合

- ① とびらを浴室内側に少し開きます。L型ハンドルを持ち、浴室外側から上部の着脱ツマミを下げます。

※ とびらが外れるまでL型ハンドルから手を離さないでください。

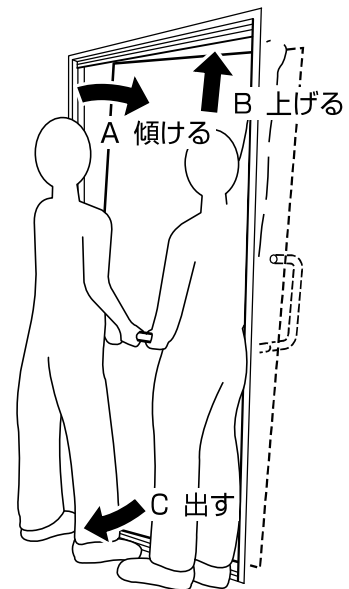


- ② とびら上部のアームストッパーをとびらの上へ押し、とびら本体から外します。



- ③ とびらの上部を浴室内側に傾けて (A) 上方へ持ち上げます (B)。

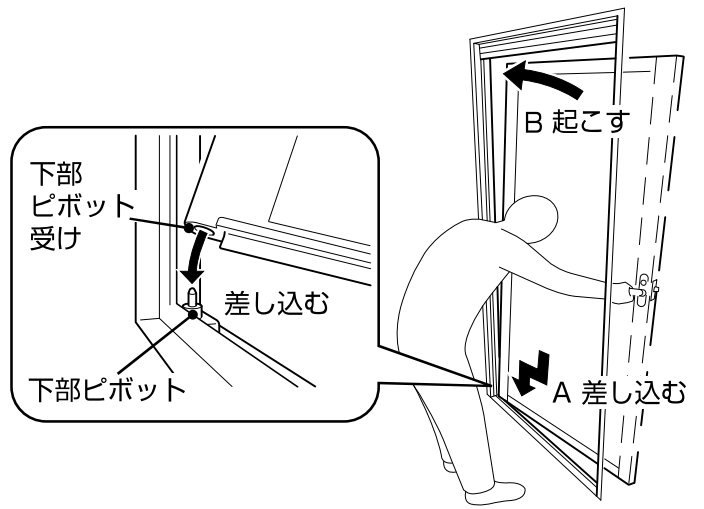
とびらを少し斜めにしながら、浴室外側へ取り出します (C)。



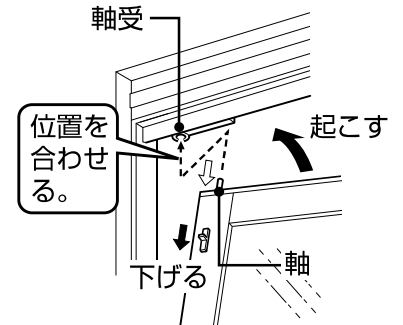
## ● とびらを取り付ける

### 開き戸 (UDY) の場合

- 1 とびらを浴室内側に運び、少し傾けながらとびらの下部ピボット受けを下部ピボットに差し込みます (A)。とびら上部を起こします (B)。

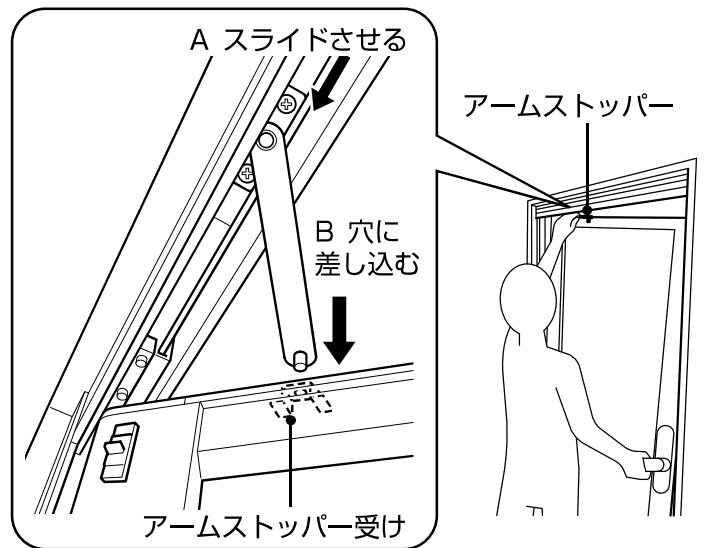


- 2 とびら上部の着脱ツマミを下げながらとびらを起こし、軸と軸受けの位置を合わせます。着脱ツマミを離し、軸を受け穴にはめます。



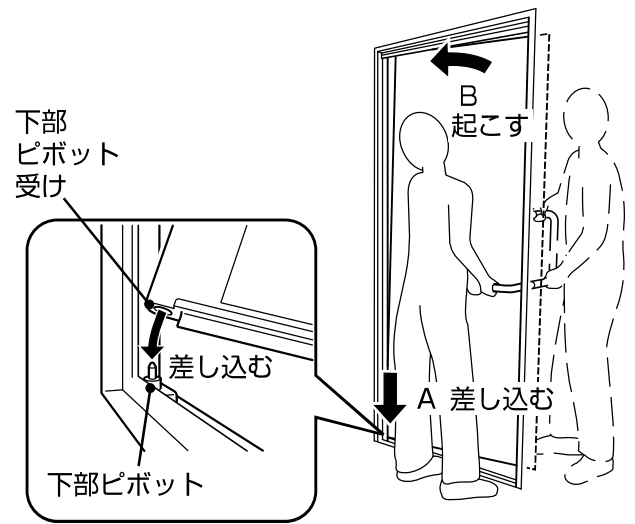
- 3 アームストッパーを取り付けます。

- ・ とびら上部のアームストッパーを吊元側に移動させます (A)。
- ・ とびらを半開きにした状態でアームストッパーの突起部をアームストッパー受けの丸穴に差し込みます (B)。

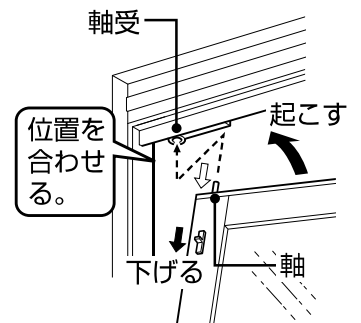


## テンパー開き戸 (TDY) の場合

- ① L型ハンドルを持って、とびらを浴室内側に運び、少し傾けながらとびらの下部ピボット受けを下部ピボットに差し込みます (A)。とびら上部を起こします (B)。

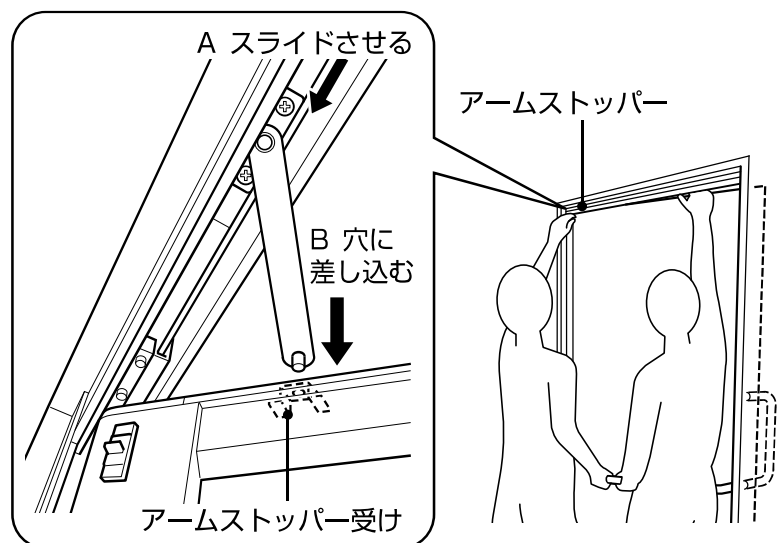


- ② とびら上部の着脱ツマミを下げながらとびらを起こし、軸と軸受けの位置を合わせます。着脱ツマミを離し、軸を受け穴にはめます。



- ③ アームストッパーを取り付けます。

- ・ とびら上部のアームストッパーを吊元側に移動させます (A)。
- ・ とびらを半開きにした状態でアームストッパーの突起部をアームストッパー受けの丸穴に差し込みます (B)。



## ■ 開き戸・テンパー開き戸の調節方法

開き戸が「閉まりにくい」「閉めても開いてしまう」「閉めてもガタつく」等は、ストライクボックスの調節で解決することがあります。

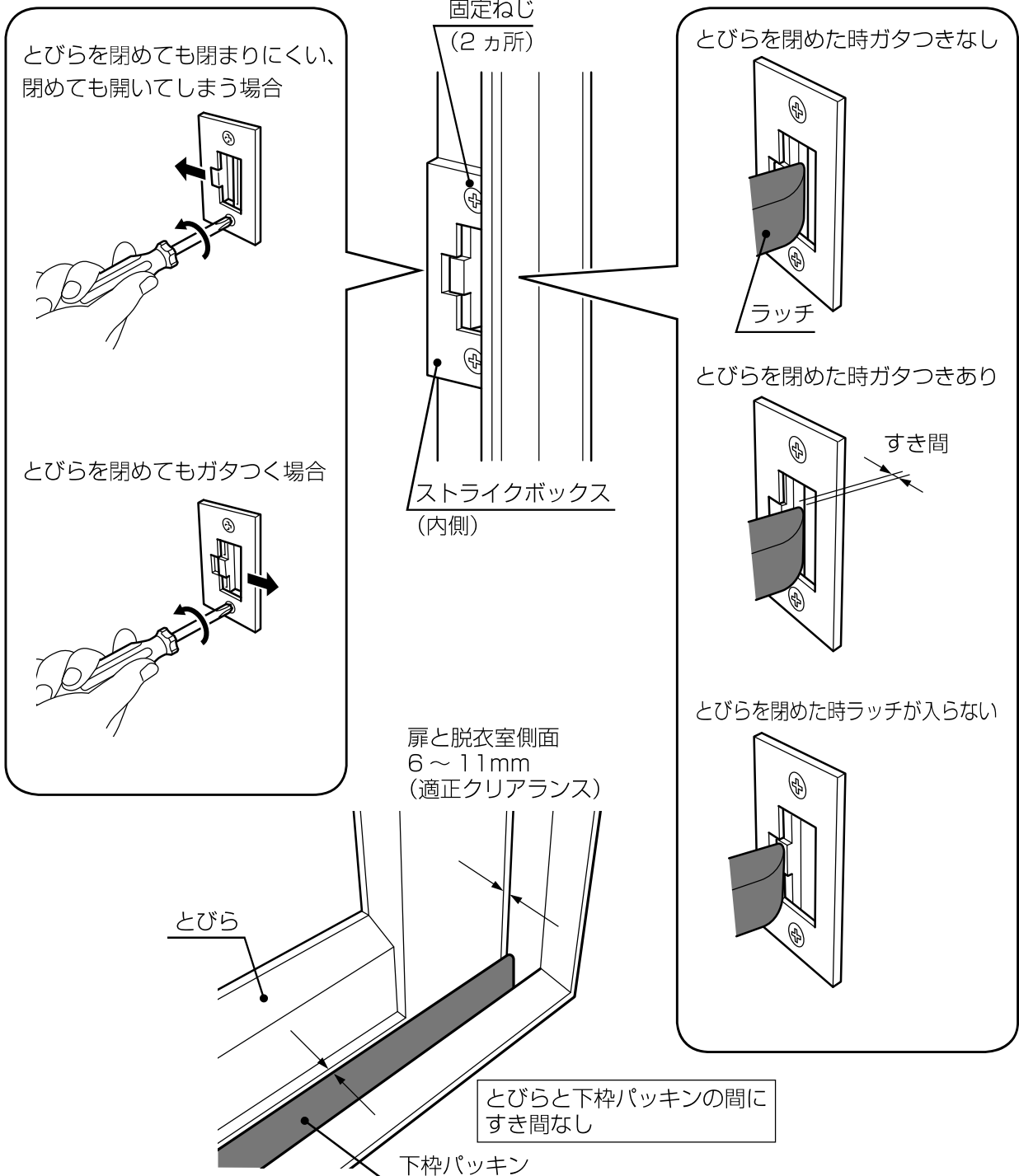
### ● 開き戸 (UDY) の場合

#### ⚠ 注意



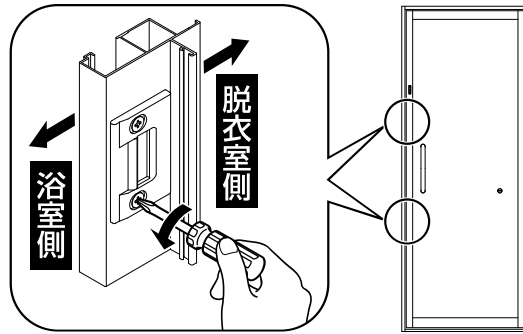
固定ねじはゆるめるだけにし、引き抜かないようにしてください。  
※開閉不良・漏水の原因となる恐れがあります。

- ① 固定ねじをゆるめ、戸先側縦枠中央部にあるストライクボックスを前後に動かし、ラッチのかかりを調節します。
- ② とびらの開閉を確認します。

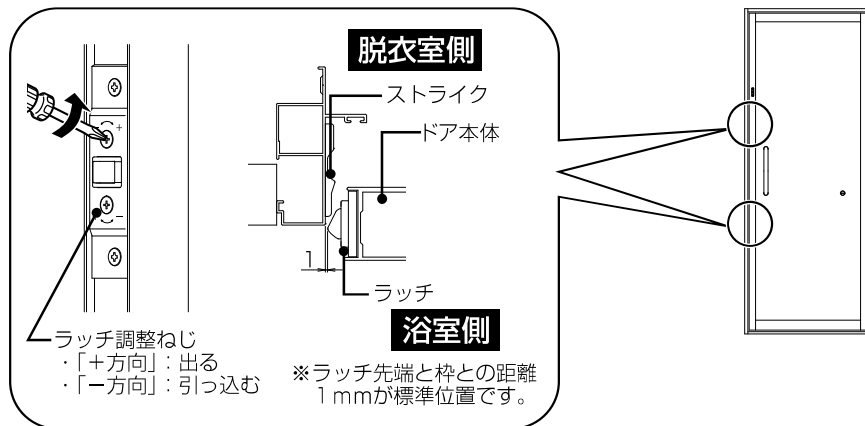


## テンパー開き戸（TDY）の場合

- ① ストライクが動く程度にストライク固定ねじをゆるめ、ストライクを調整します。（2か所）
  - ・ ドア本体が閉まりにくい、閉めても開いてしまう場合  
→ストライクを浴室側へ動かします
  - ・ ドア本体を閉めてもガタつく場合  
→ストライクを脱衣室側へ動かします
  - ・ ラッチが上下で閉まるタイミングがずれる場合  
→各ストライクを移動し調整してください



- ② ドア本体側のラッチ調整ねじで、ラッチの出寸法を調整します。（2か所）
  - ・ 開閉が重い場合  
→ラッチ調整ねじで、調整してください



- ③ ドア本体が戸先側縦枠と下枠のパッキンに接していることを確認してください。

